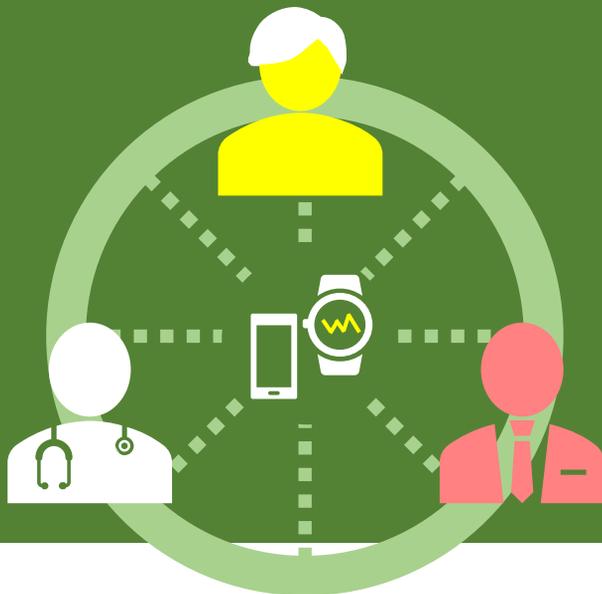


高齢社会をアップグレードする センシングIoT標準化セミナー

超高齢化社会におけるIoT活用を飛躍的に拡大することが期待される「コンテナフォーマット」。

現在我が国は、国際標準化を率先し推進しています。

今回のセミナーでは、高齢化社会におけるICT活用の第一人者にその全体像をお伺いするとともに、標準化推進メンバーより、最新の標準化の状況および活用拡大に向けた諸活動をご紹介します。本領域にご関心お持ちの皆様には、ふるってご参加ご検討いただきますよう、よろしくお願いいたします。



日時

2022年 9月 28日 (水)

15:00 - 17:30
14:30開場

場所

大手町ファーストスクエアカンファレンス + オンライン

〒100-0004

東京都千代田区大手町 1-5-1

ファーストスクエア イーストタワー2F

- JR東京駅 丸の内北口 徒歩4分
- 大手町駅・東京メトロ [千代田線 / 東西線 / 丸の内線 / 半蔵門線] 「C8・C11・C12」出口から直結



定員

70名 (会場) ※オンラインは定員はありません。

参加費

無料 (事前申込制です)

主催・協賛

主催 経済産業省 令和4年度「省エネルギー等に関する国際標準の獲得・普及促進事業委託費」
(ウェアラブルセンサ信号のコンテナフォーマットに関する国際標準化)受託者一同(*)

後援 一般社団法人電子情報技術産業協会(JEITA)

特定非営利活動法人情報通信政策フォーラム

お申し込み

下記webサイトからお申し込みください。

一般社団法人 ETA/AAL推進協議会 <https://aaleta.or.jp/>

経済産業省にご支援を頂いているコンテナフォーマット標準化推進プロジェクトは3年目の大詰めを迎え、開発とともに普及に向けた活動を拡充しております。

今回は、通信技術・規格・行政に幅広く活動されておられる東洋大学山田肇先生に、高齢化社会におけるIoTについて俯瞰的なお話をいただくとともに、今年度の国際標準化の状況、および検証と活用拡大に向けた諸活動についてご紹介します。

基調講演

高齢社会におけるヘルスケアICTと国際標準化

センシングIoTを含め、ヘルスケアICTは高齢社会が抱える健康・医療・介護への社会的な負担を軽減する技術である。国際標準化団体IECでの標準化も進展してきた。本講演ではヘルスケアICTの可能性と国際標準化の動向を説明する。

講師 **山田 肇 様** 東洋大学名誉教授、特定非営利活動法人情報通信政策フォーラム理事長、コンサルタント。
科学技術復興機構社会技術研究開発センター「安全な暮らしをつくる新しい公／私空間の構築」研究開発領域総括。高齢社会対応標準化国内委員会委員長。監修「ドラえもん社会ワールド：情報に強くなろう」(小学館) など多数



センシングIoT標準化推進活動紹介

センシングIoT国際標準化の状況

広島市立大学 大学院情報科学研究科 教授 田中 宏和

標準化の意義とメリット、IECでの標準化状況、日本のポジションと今後の見通しをご紹介

標準化の内容とテストラボご紹介

TIS株式会社 テクノロジー&イノベーション本部 清家 巧
株式会社イー・アンド・デイ 設計開発本部 藤原 貴広

今回標準化が進められている「コンテナフォーマット」とはなにか、デモを交えて技術面を中心としたご紹介を行うとともに、具体的に活用をいただくための「テストラボ」をご紹介

1. コンテナフォーマットとは？技術概要
2. テストラボのミッション、提供機能、システム概要
3. 適用例とデモンストレーション

標準化の活用を目指す研究会ご紹介

帝人株式会社 スマートテクノロジーセンター 松野 孝也

病院・薬局・センサーメーカー・サービス提供者によるコンテナフォーマット利活用に向けたユースケース開発活動をご紹介